

【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン 薬物療法
対象	高齢者かつHER2陽性原発性乳癌に対する術後薬物療法
介入	化学療法+抗HER2療法
対照	化学療法のみ

エビデンスの強さはRCTは“強(A)”からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
 * 各ドメインは“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階
 ** エビデンスの強さは“強(A)”、“中(B)”、“弱(C)”、“非常に弱(D)”の4段階
 *** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	リスク人数(アウトカム率)						効果指標(種類)	効果指標統合値	信頼区間	エビデンスの強さ**	重要性***	コメント	
								対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)							
全生存期間の改善	RCT/1	-1	0	0	-2	0	NA	326				357			HR	0.51	0.37-0.69	弱(C)	9	NSABP B-31/NCCTG N9831のみ 60歳以上
無病生存期間の改善	RCT/2	0	0	0	-2	0	NA	601				631			HR	0.64	0.51-0.81	弱(C)	7	60歳以上
毒性																			7	データなし
QOL																			6	データなし

無病生存期間の改善

